

田原小だより



第687号

令和4年10月31日

台東区立田原小学校

校長 佐藤 貴生

『3年ぶりに・・・』

校長 佐藤 貴生

「灯火親しむべき候」というのは、「読書をするのにふさわしい秋の季節」という意味で、手紙の書き出しなどに用いる言葉です。今、正に全国読書週間、読書をするのに最適な季節です。

10月1日(土)秋季運動会を開催しました。今年度も1・3・5年生と2・4・6年生の2部制で行いました。「明るく 楽しく 全力でトライ!!」のスローガン通り、子供たちは3週間の練習中真剣に取り組み、本番ではその成果を十分発揮しました。今年度は参観人数の制限を無くし、3年ぶりにご来賓もお招きすることができました。祖父母の皆様にも多く参観していただき、子供たちの頑張る姿を久しぶりにご覧いただきました。またご来賓には、歴代校長先生、町会長様、地域協力者、近隣中学校、児童館、民生委員、前PTA会長、コミュニティ、教育委員会等、総勢46名の皆様にご来校くださいました。改めて田原小学校は、いつも応援してくださる地域の中の学校であると感じました。今年度は成績発表も行い、1部は白組が優勝、2部は赤組が優勝し、翌週の全校朝会で総合成績発表を行いました。赤組510点、白組518点。今年度は僅差で白組が優勝し、応援団長に優勝旗、準優勝杯を授与しました。気温も高く暑い気候でしたが、子供たちのがんばる姿を見て心も熱くなる時間となりました。運営面では、柿崎PTA会長様をはじめ役員の皆様、そして後片付けにも多くの保護者の皆様にご協力いただきました。感謝申し上げます。

翌10月2日(日)には、3年ぶりに田原バンド・フラッグ隊が地域行事に参加しました。雷門一之宮商店会主催『五感で楽しむ まちなかフェスタ IN 浅草雷門』に招待を受け、浅草雷門前 並木通りで、演奏・演技を披露しました。5・6年生の部員すべてが地域行事に参加するのは初めてです。「緊張したけれどとても楽しかった」「観光客・地域の皆さんに演奏を聞いて、演技を見てもらいうれしかった」等、子供たちにとって大切な思い出となったようです。

10月18日(火)は、3年ぶりにリバーサイド陸上競技場にて連合運動会が開催されました。6年生が、50m走・100m走・50mハードル走・走り高跳び・走り幅跳びの種目に分かれて、他校の6年生と競い合います。今年度は密をふせぐために、午前と午後2つに分かれて行いましたが、自校の友達を応援する機会も初めてです。運動会終了後から、朝、体育の時間、放課後と種目ごとの練習を繰り返し、当日は自己ベスト記録を出そうとカー杯競技に集中しました。後日記録証を受け取ります。



少しずつ感染も収束しつつ、3年ぶりに開催できる行事が増えてきています。田原小学校では、どの行事も以前と同じに戻すのではなく、更に工夫・改善をしています。特に子供たちが主体的に考え、友達と関わりながら楽しく力を発揮できるようにプロセスを大事にしています。11月には、5年生が連合音楽会に出演し、本校学芸会も行います。子供たちの輝く姿をぜひご期待ください。

生活指導部より

生活指導部 高橋 浩之

11月の生活指導月目標は、『友達と仲良くしよう』です。友達と仲良く過ごすためには、友達の気持ちを考えることが大切です。誰もが気持ちよく、楽しく過ごせる学級・学校にするためにすべきことを子供たちと一緒に考えながら、充実した学校生活につなげていきたいと思えます。

また、今月からは、冬季の服装での生活となります。登下校時にはブレザー、校帽を着用させてください。校舎内では、スクールセーター、ベストで過ごしてもよいです。気温に合わせて衣服の調節をするよう、ご家庭でも話題にしてください。よろしく願いいたします。